

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信



箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

「オオクワガタの棲(す)める森づくり」植樹祭① ～ボランティアの協力のもと平日に開催～

平成23年は国連の定める「国際森林年」にあたることから、より多くの苗木育成者に参加していただくため、箕面国有林エキスポの森(大阪府箕面市)の展望台周辺において、当ふれあいセンターと京都大阪森林管理事務所が主催し、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の協力を得て、11月16日(水)と12月11日(日)の2回開催しました。

11月16日(水)は、苗木を育ててもらったNPO法人NALC(ナルク)箕面から4名参加していただき、協議会の8団体から17名、当方スタッフ8名の総勢29名により、クヌギ・コナラ・ヤマザクラなど8種類の苗木を植樹しました。3時間の作業の間、天候にも恵まれ、皆さん一生懸命に取り組んでいただき、おかげさまで予定した以上に作業が進み、約600本植えることができました。



協力いただく協議会の鎌谷計三代表から挨拶



植樹作業の全景



1本1本丁寧に苗木を植樹



夫婦仲良くヤマザクラを植樹

「オオクワガタの棲(す)める森づくり」植樹祭② ～一般の苗木育成者を招いて日曜日に開催～

12月11日(日)は「オオクワガタの棲める森づくり」の取組に賛同し、家庭等で苗木を育ててもらった家族と、フォーラムみのおBGC・NPO法人NALC箕面・ガールスカウトから39名参加していただき、当ふれあいセンターの「箕面体験学習の森」検討委員会から委員5名、協議会の6団体から24名、当方スタッフ9名の総勢77名により、午前11時から午後1時まで開会式、記念標柱の除幕式、植樹、なめこ・しいたけの植菌体験の日程で実施しました。

芝生広場での開会式では、主催者を代表して木暮計画部長から、植樹祭への参加と協力にお礼を述べるとともに、「今回の植樹祭は国際森林年記念の最後のイベントになります。今日は安全に楽しく森づくりを行ってください」と挨拶。続いて検討委員会を代表して服部兵庫県立大学教授から、「今日は頑張って皆さんにクヌギなどを植えていただき、オオクワガタがたくさん取れるような森をつくってください」と挨拶していただきました。その後、植樹会場の展望台周辺に移動し、検討委員会委員と参加の子どもたちによる記念標柱の除幕式を行い、植樹方法の説明後、参加者に実際に植樹を行ってもらい、クヌギ・コナラ・ヤマザクラなど6種類の苗木を225本植えていただきました。

植樹後、芝生広場に戻り、当地で伐採したサクラ・クヌギの丸太を使い、なめこ・しいたけの駒菌を打ち込む体験をしてもらいました。参加者からは「またこういう行事があれば参加したい」との感想も聞かれ、閉会において当方から、「植樹は今年度で終わりますが、かつての箕面の森と言われる、菊炭を生産する台場クヌギ仕立ての森やオオクワガタなどの昆虫が棲む森を再生するため、今後も下刈などの保育作業を実施していきますので、引き続き応援をお願いします」と挨拶し、植樹祭を終了しました。



主催者を代表して木暮計画部長が挨拶



検討委員会を代表して服部保先生が挨拶



子どもたちも入り記念標柱の除幕を行う



各班に分かれて植樹を実施



リーダーの指導のもと植樹を体験



親子仲良く駒菌の打ち込みを体験



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055 URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F



2011・国際森林年